

平成30年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>犯罪の起きにくい社会づくりを推進します。</p>	<p>犯罪の減少傾向を定着させ、府民の体感治安を高めるため、犯罪情勢を的確に分析し、性犯罪や特殊詐欺など府民に不安を与える犯罪や増加・多発罪種等に対して、地域の実態に即した効果的な対策を推進するとともに、社会全体の防犯意識の向上や防犯環境の整備促進等、地域住民・関係機関・団体等と連携した地域防犯力強化に向けた取組を推進します。</p>
2	<p>子供・女性・高齢者・被害者の安全確保と少年非行防止対策を充実・強化します。</p>	<p>① 子供・女性・高齢者の安全を確保します。</p> <p>ストーカー、DV、児童虐待、行方不明事案等の人身危機事案に対する部門の枠を越えた迅速・的確な対応により、被害者等の安全確保を徹底するとともに、平成29年に刑法が改正されたこと等を踏まえ、性犯罪等の未然防止を図るため、前兆事案に対する先制・予防的活動、対象に応じた被害防止教育、ストーカー等の相談に対する適切な対応、広報啓発、情報発信等の取組を強化します。</p> <p>このほか、高齢者の安全・安心を確保するための関係機関・団体と緊密に連携した対策を推進します。</p> <p>② 犯罪被害者支援を充実・強化します。</p> <p>犯罪被害者等が被害から回復し、社会の中で再び平穏な生活を営むことができるよう、各種取組を充実・強化するとともに、社会全体で犯罪被害者等を支えていく気運の醸成を図るため、犯罪被害者等に対する府民の理解の増進と配慮・協力を一層促します。</p> <p>③ 少年非行防止対策を充実・強化します。</p> <p>大麻乱用少年の急増や非行の低年齢化等の問題に対応するため、少年の特性に配慮した迅速かつ適正な少年事件捜査を推進するとともに、関係機関・団体等と連携した、非行防止教室や薬物乱用防止教室等の開催、再非行防止に向けた少年の立ち直り支援活動等を推進し、地域社会と一体となった非行防止対策の充実・強化を図ります。</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>府民に不安を与える犯罪を徹底検挙し、組織犯罪対策を充実・強化します。</p>	<p>① 府民に不安を与える犯罪を徹底検挙します。</p> <p style="padding-left: 20px;">凶悪犯罪、性犯罪、住宅侵入窃盗、特殊詐欺等の府民に不安を与える重要・悪質な犯罪について、徹底した初動捜査や現場鑑識活動、DNA型鑑定等を活用した科学捜査、予測型犯罪防御システムの活用などにより、検挙力を更に強化します。</p> <p style="padding-left: 20px;">特に、特殊詐欺については、各種被害防止対策や犯行ツール対策を強化するとともに、犯行拠点の摘発や中枢被疑者の検挙等を徹底します。</p> <p>② 組織犯罪対策を充実・強化します。</p> <p style="padding-left: 20px;">六代目山口組と神戸山口組の対立抗争に加え、京都府下においても、後継者を巡る六代目会津小鉄会の内部対立など予断を許さない状況にある中、府民の安全を確保するための警戒活動を強化するとともに、首領幹部の検挙、銃器や武器庫の摘発及び違法薬物やみかじめ料等の資金源の遮断と、社会一体となった暴力団排除活動を推進し、対立抗争事件の防遏(あつ)と暴力団をはじめとする反社会的勢力の弱体化・壊滅へ向けた取組を加速します。</p> <p style="padding-left: 20px;">また、外国人犯罪組織の取締りを徹底するなど、犯罪組織が根付かない環境づくりを推進します。</p> <p>③ 繁華街対策を推進します。</p> <p style="padding-left: 20px;">安全・安心な繁華街の更なる定着化を図るため、国際化や暴力団情勢等による風俗環境の変化に対応した取締りを徹底するとともに、地元商店街や関係機関との連携・協働による官民一体となった環境浄化活動、街頭防犯カメラ等の治安インフラの構築に向けた取組を強化します。</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
4	交通死亡事故抑止対策を推進します。	<p>① 交通事故分析結果を踏まえた効果的な交通事故防止対策を推進します。 交通事故総量を抑制することを最重点として、地理情報に基づく交通事故分析システム（GISシステム）による分析結果を踏まえ、限られた警察力をより効果的かつ効率的に運用し、交通指導取締り、交通安全教育、交通規制等を有効に組み合わせ、組織一体となった交通事故防止対策を推進します。</p> <p>② 高齢者の交通安全対策を強化します。 高齢運転者対策として、参加・体験・実践型の交通教室等、効果的な交通安全教育を実施するとともに、高齢運転者のニーズ、実態等を踏まえた、運転免許証の自主返納促進に向けた取組や安全運転サポート車の普及啓発等を推進し、高齢歩行者対策として、交通安全マップを活用した広報啓発活動を推進するとともに、反射材の着用促進等を図ります。</p>
5	サイバー空間における脅威への確に対処します。	<p>サイバー空間と実空間の融合化を踏まえ、大学や産業界の知見を活用した組織全体のサイバー捜査能力の底上げを図るとともに、高度化するサイバー犯罪に対する戦略的な捜査を推進します。</p> <p>また、青少年や高齢者等のネットトラブル対応力の向上、企業の情報セキュリティ対策の促進等、府民・企業の被害防止に向けた幅広い被害防止対策を推進します。</p>
6	テロ、ゲリラの未然防止と緊急事態対策を推進します。	<p>① テロ、ゲリラの未然防止対策を推進します。 東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を控え、世界有数の国際観光都市である京都が国際テロの標的となるおそれは否定できないところです。また、極左暴力集団によるテロ、ゲリラ事件の発生も懸念されます。このため、官民連携によるテロ対策を推進するとともに、テロ情勢に関する幅広い情報の収集と分析、重要施設等に対する管理者対策や警戒警備の強化等により、テロ、ゲリラの未然防止に万全を期します。</p> <p>② 緊急事態対策を推進します。 台風や局地的大雨、地震等による自然災害や、北朝鮮によるミサイル発射等に伴う緊急事態の発生が懸念されます。このため、平素から関係機関との緊密な連携の下、情報収集態勢を構築するほか、情報共有に努め、実戦的訓練の反復実施による初動態勢の早期確立と被災者の救出・救助能力の向上を図るなど、緊急事態対策に万全を期します。</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 警察本部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
7	<p>時代の要請に応える警察基盤を充実・強化します。</p>	<p>① 職員が能力を最大限に発揮できる環境を整備します。</p> <p>各種休暇の取得・時間外勤務の縮減や健康管理対策などのワークライフバランスの推進、業務の合理化・効率化、仕事や子育て・介護の両立支援等の職員の活躍支援を推進するなど、組織全体で働き方改革に取り組み、全ての職員が誇りと責任を持って生き生きと働き続けることができる、多様性のある強い組織を確立します。</p> <p>② 強靱な組織風土を確立し、組織・体制を強化します。</p> <p>「誇りと使命感」の高揚及び職員相互の「強固な信頼」の醸成により強靱な組織風土を確立し、社会情勢に柔軟に対応できる警察組織を構築するため、時代の要請に応じた職場教養や連帯意識を高める取組を一層推進するとともに、現場の実情に応じた業務の改善を行い、職員が働きやすい職場環境を構築します。</p> <p>また、優秀な人材の確保、若手警察官の早期戦力化、術科訓練の充実、幹部の指揮能力の向上等に向けた取組を強化するとともに、警察施設の整備促進と機能強化、第一線警察活動を支援するシステムや装備資機材の開発・整備、情報発信機能の充実・強化、警察事象の国際化への対応など、組織体制の強化を図ります。</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。